１人１台端末の活用による実践事例

（小・中学校）

学校名	赤磐市立城南小学校	実践者名	狩野　英雄
教科等	国語科	学年	第３学年
		授業活用段階 （岡山県版）	Stage２
育成したい 資質・能力	調べたことをまとめ、発表する力。		
単元・内容等	「わたしたちの学校じまん」 学校のよいところについて調べ、発表する。		
児童生徒の実態 （端末活用頻度等）	・２日に１回程度はタブレット PC を使って学習している。 ・撮影やムーブノートに写真を送付する等の基本的な操作はスムーズにできる。		

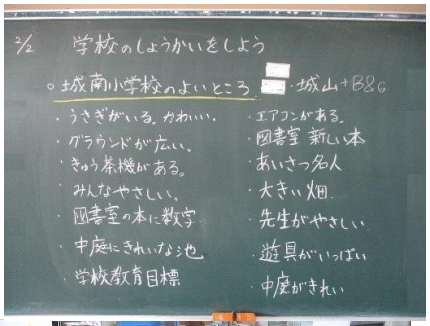
活用の概要（使用アプリ名を含む）する

(1)「学校のよいところ」を学級全体で話し合う。
児童から出てきたよいところ
・あきらめない　　・思いやりがある
・あいさつ　　・城山公園とＢ＆Ｇ（近隣の施設）

(2)「学校のよいところ」を参観日で保護者に発表するため、グループでまとめる。
・写真やイラスト等を加えてスライドを作成する。

(3)発表の練習をする。
・動画サイトにある他県のプレゼンテーションコンクールの動画を見たり、実際に自分たちが発表している様子を動画に撮影して見たりして、相手に伝わる発表の仕方を考える。
・相手に分かりやすく発表するために大切なことは、「前を向いて話すこと」、「聞き取りやすい声の大きさで話すこと」などを話し合い、練習する。
・ペアで練習したり、グループごとに聞き合ったりして、分かりやすくなっているかを確認する。

(4) 参観日で発表する。



実践者の手ごたえ	児童生徒の振り返りや反応等
端末を活用することで、撮影や発表のためのスライド作成に簡単に取り組めるようになった。回数を重ねるごとに、お互いにアドバイスをし合い、端末活用能力が向上した。	（児童の振り返り） 「タブレットなら写真をすぐ撮れるし、撮った写真をスライドに使えたのでやりやすかった。」 「プレゼンテーションコンクールの動画を見たら前を向いて堂々と話していて、びっくりした。」 「自分が発表しているところを動画で撮って見直すのは恥ずかしかったけど、下を向いていたり声が小さかったりしたので、大きな声で前を向いて話そうと思った。」